

Rotary
第2760地区



2022-23年度
ガバナー月信

2022.

8

August

IMAGINE ROTARY

ROTARY international District 2760



IMAGINE
ROTARY

イマジンロータリー





2760地区閑話小題



名古屋駅前モニュメント「飛翔」解体工事始まる

32年間に渡り、名古屋駅前の象徴として親しまれた大型モニュメント「飛翔」の解体工事が開始されました。この写真はまだ原型を留めた工事開始直後のものです。リニアの時代を控え、変わりゆく町にわくわくします。



表紙のお話

大須演芸場舞台写真 演者 雷門獅篋

大須演芸場(おおすえんげいじょう)は、愛知県名古屋市中区大須二丁目にある寄席・劇場。

質素儉約が叫ばれていた江戸中期、尾張7代藩主徳川宗春は開放政策を進め、名古屋の芸能文化が一気に開花し、大須にも多くの芝居小屋が並んだといわれています。そんな伝統を受け継ぐ大須演芸場は、2015年9月に大改修工事を経て、新たに開場しました。

「伝統と変革」、そして「継続」を旨に、「芸どころ名古屋」を今に伝える中京圏唯一の寄席です。

名古屋中ロータリークラブは、2022年10月26日(水)に地区補助金を活用し、地元小学生を大須演芸場に招き、名古屋が誇る寄席文化を体験して頂く事業を計画しています。



CONTENTS

- 1 表紙のお話
- 2 ガバナーズメッセージ
- 3 8月 会員増強・新クラブ結成推進月間
- 4 特集:ガバナー活動報告
- 5 特集:名古屋中ロータリークラブ紹介

クラブの基盤を強化しよう

2022-23年度のロータリー年度がいよいよスタートして、1か月が経過致しました。新年度のわくわく感があふれる中、クラブ会長、クラブ幹事、地区委員の皆さん、2760地区の全会員の皆さんのお力添えにより、素晴らしいスタートが切れたことと思います。心よりお慶び申し上げます。

昨今の社会環境は目まぐるしく変化しており、クラブとしての将来設計がなかなか定まらない状況であると思います。特に、3年前に発生したコロナ禍に翻弄され続け、また、最近ではロシアによるウクライナへの侵攻で、食料危機、エネルギー問題等、大きな影響を受けております。まさに、激動の社会情勢下に私たちは置かれています。この時こそ、ロータリーは活動を通じて、世界平和に向けて歩まなければならないと考えます。これらに負けることなく、前進し続けていきましょう。

この困難な時だからこそ、ロータリーの底力を見せようではありませんか。今一度ロータリー活動の必要性と重要性を再認識し、絶え間のない奉仕活動を通じ、新しい社会の形を作っていきましょう。

そのためには、ロータリアン全員でロータリーの「未来を描き」、将来と夢を皆で語り合い、一致協力して進めることが重要です。これらのことを特に意識して頂きたいと思います。

国際ロータリーは、創立117年になりますが、初めて女性会長が誕生しました。これも、女性の活躍の機会を社会が求めている現れであると思います。今までのロータリーは、女性の社会進出や、若者の受け入れに必ずしも十分に積極的ではなかった面があります。これらの問題を解消するためには、会員一人一人の力、活動が必要不可欠であり、会員一丸となって時代に沿ったロータリークラブを造っていかねばならないと考えます。まさしく、変化の時代に突入したと思います。

現在の日本のロータリー会員は、ピーク時から約5万人減少しています。今まで会員数の減少について問題提起がされてきましたが、一向に上向くことなく推移しています。今一度、ロータリーの将来を考えて頂き、一人でも多くの会員を増やすため、皆で知恵を出し合い、会員増強活動を押し進めなければなりません。2760地区の会員数は4,700名弱であり、これを5,000名にしていくという目標を掲げ、地区活動方針の中に優先項目として入れさせて頂きました。

この目標達成に向けて、女性会員の勧誘、若い世代への働きかけを推進して頂き、各クラブ3名以上の純増という目標をもって活動して頂きますようお願い致します。

会員数の増加は、クラブの活性化に繋がります。「楽しい」「明るい」充実したクラブ活動へと向けて、クラブの更なる基盤強化を図っていきましょう。

また、新しいクラブの設立も、新規会員の獲得に繋がります。是非、皆さんの協力を賜りながら会員数の増加を図り、既存・新規メンバーにとって「楽しい」「明るい」活動とすることはもちろん、社会から「頼りがいのある」ロータリークラブとなるよう、会員一人ひとりの皆様のお力をお借りできればと思います。

今月からガバナー公式訪問が始まります。皆さんとお目にかかる日を楽しみにしております。



2022-23年度ガバナー 筧橋 美久



8月 会員増強・新クラブ結成推進月間



地区に新しい風が吹きはじめました。コロナの長いトンネルも徐々に出口が見え始めています。2年間自由に動けなかつただけに、なにかをしたい!という気風がクラブに満ちあふれています。長い我慢の季節を過ごし、我々にはこんなに底力があつたのか、例会でお互いに声をかけあうことがこれほど嬉しいことだったのか、Zoom例会やホームページ上の例会など新しい方法を試みて、新しいやり方をやってみるのって、そんなに大変なことじゃない、やってみればいろいろな発見がある、と気づいたので。

1997年以降、当地区は会員減少が続いていますが、昨年度は58名の減少に留まりました。一昨年は124名減ですから、減少率が半分以下になりました。今こそ、会員減少の流れにピリオドを打つ時、行動を始めるべき時です。

会員増強成功のためには、とにかく早くスタートを切らなければ。7月6日に会員増強セミナーを開催しました。会員増強になくはならぬ知識と情報を、座学→ディスカッション→懇親会の3ステップで頭に叩き込んでいただき、会員増強総合第一位クラブとして稲沢ロータリークラブを表彰しました。

会員増強の鍵は女性会員にあり! 当地区にはもっともっと女性会員がいて当然です。会員増強委員会は今期、「ロータリー女性の集い」を継続事業として立ち上げます。PART1が10月13日、PART2が2月9日です。男性も女性も、ロータリアンもまだそうでない方も、多くの方のご参加を期待します。

会員増強にはクラブのリーフレットが必需品。下半期事業として会員勧誘に役立つリーフレットを作成・配信します。穴埋め式で、クラブ情報を入力すれば、クラブのオリジナルリーフレットが完成です。

会員増強・退会防止に役立つことなら何でもやろう、と11人の委員が走ります。私たちは頑張るクラブの応援団です。

会員増強委員長 石井 弘子



増強第一位表彰



会員増強委員会



本会議



全体会議について

令和4年7月8日金曜日16時より、ウインクあいちにて2022-23年度クラブ活性化セミナーが開催されました。

今回は全体会議の後、ワークショップ形式で10か所に分かれてグループディスカッションを行い、講評を締めくりに3時間にわたるセミナーが終了しました。

全体会議の様式ですが、籠橋ガバナー、伊藤地区研修リーダー、神野地区拡大委員長の挨拶から始まり、籠橋ガバナーより「DEIについて」の卓話を頂きました。

卓話の要旨としては、地区方針「未来を描こう、笑顔でつながろう」について、JジョーンズRI会長の考え方など、多岐に渡ったお話でしたが、最後にDEIとは、排除や分離を行わず、平等だけでなく公平を重んじ、ダイバーシティとインクルージョンを両立してこそ意味があると理解して下さい、そして、「DEI=出会い」と覚えて頂ければ幸いですという内容でお話を締めくられました。

地区副幹事 松本 健一郎



ワークショップについて

今年度のクラブ活性化セミナーは籠橋年度スタートのタイミングに合わせて開催された。2760地区すべてのクラブがこのセミナーに参加することで大きなヒントを得て、活性化につながるよう籠橋ガバナーは参加型のセミナーを企画された。参加型とは、小グループに分かれてのワークショップ・ディスカッションをしながら進めるもので、まず全体会議で籠橋ガバナーから地区方針とDEIについて講話があり、特にDEIについて丁寧に説明された。その後、各グループに各分区のクラブが一つ以上入る組み合わせで10会場に分かれ、ディスカッションが行われた。各会場では研修実行委員会のDLが進行を担当。各クラブの問題点や今年度予定されている活動について意見交換が行われた。各クラブから活発な意見や経験談も多く出され、お互いに質問も交わされていた。後半には各会場内で小グループを作りDEIについてディスカッションが行われた。自クラブでやらなければならないこと、すでに行っていることなどがディスカッションを通じて確認できこれからはつながる内容であった。クラブの運営、活動方法、財団寄付に対する考え方など自クラブと他クラブとの違いを知る機会ともなり、参加クラブは大きなヒントとアイデアを手にしたはずである。座学ではなく参加型で行われた今回のクラブ活性化セミナー。各クラブの活性化につながる「エネルギー」を感じるセミナーであった。

今年度のクラブ活性化セミナーは籠橋年度スタートのタイミングに合わせて開催された。2760地区すべてのクラブがこのセミナーに参加することで大きなヒントを得て、活性化につながるよう籠橋ガバナーは参加型のセミナーを企画された。参加型とは、小グループに分かれてのワークショップ・ディスカッションをしながら進めるもので、まず全体会議で籠橋ガバナーから地区方針とDEIについて講話があり、特にDEIについて丁寧に説明された。その後、各グループに各分区のクラブが一つ以上入る組み合わせで10会場に分かれ、ディスカッションが行われた。各会場では研修実行委員会のDLが進行を担当。各クラブの問題点や今年度予定されている活動について意見交換が行われた。各クラブから活発な意見や経験談も多く出され、お互いに質問も交わされていた。後半には各会場内で小グループを作りDEIについてディスカッションが行われた。自クラブでやらなければならないこと、すでに行っていることなどがディスカッションを通じて確認できこれからはつながる内容であった。クラブの運営、活動方法、財団寄付に対する考え方など自クラブと他クラブとの違いを知る機会ともなり、参加クラブは大きなヒントとアイデアを手にしたはずである。座学ではなく参加型で行われた今回のクラブ活性化セミナー。各クラブの活性化につながる「エネルギー」を感じるセミナーであった。

研修実行委員長 照井 葉



名古屋中ロータリークラブはこんなクラブです



名古屋中ロータリークラブ幹事

安田 照幸

ガバナー月信8月号に寄稿させて頂ける機会に
浴し、クラブ創立50周年記念誌を紐解きました。
今から3年前に写した集合写真に元気なお姿で
笑っていらっしゃる、クラブを支えて下さった先輩
方の中には、鬼籍へ入られた方もいらっしゃいま
す。そんな先輩方の凛としたお姿を思い起こしな
がら、私たちのクラブの歴史に思いをはせ、誇ら
しい我がクラブのことを綴りたいと思います。

1969年10月6日に堀江四郎初代会長の元で
産声を上げた私たちの名古屋中ロータリークラブ

は、リベラルで、アットホームにメンバーが集い、クラブライフを楽しむクラブ作りを目指して設立されました。創立以来のモットーは、「若さと品格、気楽で楽しいクラブ」であり、53年目を迎えた現在でも脈々と受け継がれています。本年7月1日現在で、132名の会員数を擁する多人数クラブでありながら、常に例会の出席率は90パーセント台を維持し、趣味の会や、会員相互のコミュニケーションも活発な素敵なクラブです。近年の対外事業では創立50周年記念事業として開催した「子ども食堂と夢挑戦フェスタ」が印象深いです。吹上ホールに約3,300名の方にご来場頂き、ボランティア180名、出展者446名、会員142名を合わせると約4,068名が参加しました。ステージ上では音楽や演芸、ダンス、マグロ解体ショー、一流シェフとのカレー作り



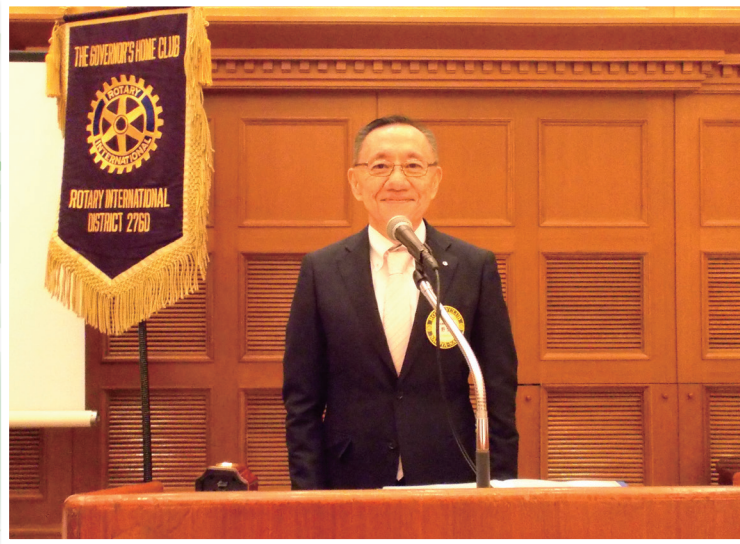
創立50周年の集合写真

体験&試食などをご家族で楽しんで頂き、50もの
ブースでは、子ども達にゲームや工作、お菓子づく
り、ドローン操作などを体験して頂きました。真夏の
暑い日に、汗だくになって設営に取り組む会員の方
々、笑顔の子ども達、一体感と共に、
このクラブの会員で良かったと
心震える素晴らしい経験を
させて頂きました。



創立50周年記念事業・子ども食堂と夢挑戦フェスタ(吹上ホール)





2022年7月4日例会 星野信利会長告示

この2年間は、コロナ禍の直撃を世界中のロータリークラブ同様に受け、特に一昨年は、例会の4割が休会となり、親睦例会は一度も開けずという状況に陥りました。しかし計画し、最善を尽くし、準備を整え、それでも実行できない口惜しさを繰り返しながらも、例会や、卓話や親睦の機会を作ろうとし続けてくださった三役と担当委員会の方々の努力やお気持ちは、バトンを受け取った私たち、その熱量と共に受け継がれています。「若さと品格、気楽で楽しいクラブ」をモットーに晴れやかで華やかな場面でも、厳しく苦しい状況でも、一年一年積み重なっているからです。

さて2022-23年度は、私たち名古屋中ロータリークラブから、箆橋美久ガバナー、岩月雅章地区幹事をはじめ、30名の地区出向者が、第2760地区84クラブすべてを駆け巡り、様々なご縁を頂き、84クラブの皆様へメッセージをお伝えし、そして84クラブの皆様から英知を分けて頂く歴史的な1年となります。先日、安城ロータリークラブ様からガバナー旗を受け継ぎました。1年間、例会会場にてガバナー旗を掲げ、1991-92年度加納泉ガバナー輩出年度以来31年ぶりのガバナー輩出に恥じない活動をしていく所存です。84クラブの皆様、事務局の皆様、各地域の皆様には大変お世話になりますが、精いっぱい力を合わせて頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

最後になりますが、本年は星野信利会長の下、若さとより品格ある、気楽でより楽しいクラブを作るべく、「持続可能性のある名古屋中ロータリークラブの未来へ、ロータリーの奉仕の心と友情を」をテーマに活動して参ります。年度の開始に先立ち、すべての委員会で三役まじえての顔合わせの機会を設けて頂きました。集った会員の皆さんは90名にもものぼりました。皆が待ち望んだ膝突き合わせ、先輩と後輩が座を囲み、未来を見つめる親睦の機会が戻ってきたのです。輪になり、汗をかき、クラブの発展に尽くすことは、地域の未来に灯りをともすことになるに違いありません。改めて、クラブ創立50周年記念誌の集合写真を心に刻み、歴史を築いてくださった先輩方が誇らしく思ってください名古屋中ロータリークラブを繋いで参ります。そして第2760地区の皆様大変お世話になります。一年間、どうぞよろしくお願い致します。